

## の良い園地づくりを行いましょう 来年に向けて作業効率と風通し

肥と剪定が残っています。体調に気をつ けて作業に臨んでください。 ました。農閑期も目前となりますが、施 本年においても収穫中に暑い日が続き

## 土づくりの実施

堆肥(腐植)を投入することによって土壌の

なりますので、中耕できる方は実施してくだ れることは植物の成長にとって大切な作業と 的に投入しましょう。また、土壌に空気を入 通気性・保水性・排水性が高くなるので、積極

### )施肥時期 ・カキ……12月~2月

夏果実…9月に投入出来ていない園地で は1月~2月

○10aあたりの施肥例 完熟堆肥 .....

1 2 t

アヅミン ..... セルカまたは苦土石灰・消石灰 100 200 kg 40 kg

スーパーマグ ……………… 60 kg

析を実施しましょう。 ※園地の適正管理のため、定期的に土壌分 60 kg

注意しましょう。 が多くなり炭そ病が発生しやすくなるため ※富有柿では過剰な堆肥の投入は、窒素分

## 間伐·縮伐

間伐・縮伐は、収穫後、葉の込み具合が分か

の樹間を保つよう心掛けましょう。 りやすいうちに行います。目安として、樹が 大きくなったとき、傘をさして通れるくらい

伐の必要がないか確認しましょう。 定を始める前に園地全体を見直し、間伐・縮 い園地や密植園において多く見られます。剪 カキでは炭そ病や黒変果は日当たりの悪

## ○密植園の悪いところ

作業効率が悪い

・園内が暗くなり、着色や肥大に悪影響

・薬剤がかかりにくく、病害虫発生を助長

日照不足により新梢が充実しない

風通しが悪くなり、黒変果が増加する

## 柿の病害虫防除

)粗皮削り

施してください。 体の粗皮削りは2~3年に1回を目安に実 め、粗皮削りは重要な作業となります。樹全 コスカシバ等の害虫は粗皮内で越冬するた フジコナカイガラムシ・カキノヘタムシガ・

## ○炭そ病対策

炭そ病は越冬する病気ですので、発病の激

期です。 12月は落葉果樹の苗木定植に最適な時

ら、両足で主幹の周りを軽く踏みつけて固定 す。その後、苗木を引き上げ気味に持ちなが 地表面に必ず出るようにし、軽く覆土しま 後はしっかりと灌水しましょう。 めに、ワラを敷く等の対策をとり、植え付け え付けます。このとき、台木との接木部分は を四方に広げ床土と根が密着するように植 苗木は深植えにならないように注意し、 、仕上げの覆土をかけます。乾燥防止のた

立て苗木を固定してください てしまうと生育が悪くなりますので、支柱を 併せて、風等で苗木が揺すられ新根が切れ があります。 しかった園では翌年以降も注意をする必要

の感染を防ぐことです。そのため、発病した 持ち出して処分してください。 枝を見つけた場合は速やかに除去し、園外に 対策を行う上で最も重要なことは、新梢な

避けてください。 枝に感染しやすいです。こういった枝を発生 させないように、窒素肥料の過多や強剪定は また、炭そ病は徒長枝や軟弱で遅伸びする

## ○落葉処理

る5月~7月の薬剤防除が重要です。 散布しても効果がないため、病原菌の感染す 発する傾向があります。発病してから薬剤を 干ばつや長雨の影響で樹勢が弱ったときに多 落葉病は、5月~7月の降雨が多い年や

## 苗木の定植

葉を必ず処理するように努めてください。

また、病原菌は落葉内で越冬するので、落

別を徹底しましょう。

越冬中晩柑の袋掛け

不知火やはるみでは、収穫時期まで寒害の

ち出すようにしてください。また、カメムシ け、腐敗果がある場合はできるだけ園外へ持 時期です。果皮が乾いた状態での収穫を心掛

12月は、普通温州みかんと早生八朔の収穫

による被害果は腐敗につながるため、家庭選

○落葉果樹定植後の切り返し目安

地上部40~50㎝程度の充実した芽で切

の、混み合っているものは間引く。 を残し、主幹と競合しそうな強勢なも 接ぎ木部から50~600程度の充実し た葉芽を残して切り返す。弱い副梢

き、弱い副梢は先端を切り返す。 す。競合しそうな強勢な副梢は間引 主幹は地上部50~600の所で切り返

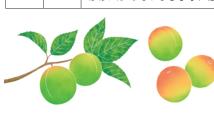
地上部5芽程度で切り返す。 地上部50~605程の所で切り返す。

ウメの防除

の対策として、下記の表を参考に防除を きるだけ年内に終わらせるよう実施しま また、剪定後はカイガラムシ類、黒星病 貯蔵養分の浪費を防ぐため、剪定はで

行ってください。

品目	防除 時期	適用病害虫	防除法		使用時期 (収穫前)	使用 回数
梅	12月	越冬病害虫	石灰硫黄合剤	10倍	発芽前	規制なし
		黒星病に注意する。風のない日を選び、展着剤を加用し、 かけムラのないよう丁寧に散布する。				







寒害対策を行いましょう

普通温州みかん 早生八朔の収穫

# 相







袋掛け前には、先月号に記載している貯蔵病 きになるように袋掛けしてください。また、 袋内に雨水が溜まると腐敗につながるため、 い品質向上に努めましょう。注意点として、 緩和や鳥害対策のために、果実に袋掛けを行 害防除を徹底しましょう。 水が溜まらないように水抜き穴が必ず下向





### バケツ稲で 刈取り・脱穀を体験

応其こども園、九度山保育所などの園児たちが、バケツ稲 の刈取りや脱穀を体験しました。バケツ稲栽培は日本の主食 である米の栽培に触れ、食の楽しさや大切さを伝える食農教 育の一環で、管内の園児を対象に広く行っています。園児た ちの手で植え付け、刈り取りや脱穀を体験。それぞれの園で、 育てたお米を食べる予定で、園児たちは毎年楽しみにしてく れています。

### 防災出前講座

女性大学で防災出前講座を開き、10人の受講生が参加し ました。伊都消防組合消防本部の方々に講師となっていた だき、救命処置の仕方を体験。胸骨圧迫やAEDなど、様々な 緊急時の対処法について実技を交えて学びました。受講生は 「応急手当てが必要な時に、手助けの一人となれるようにし たい」と話しました。



### 紀北地域の最新ニュース!



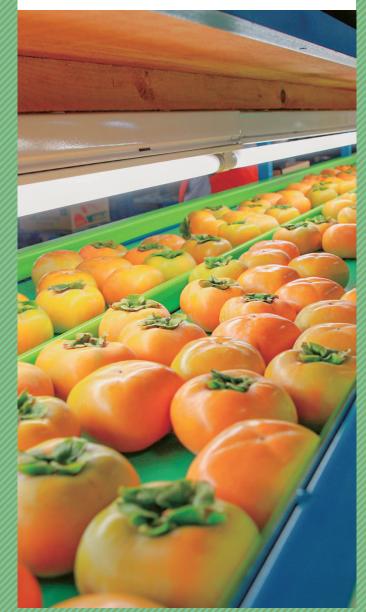
## NEWS&TOPICS



### 秋の味覚、柿出荷

紀北地域で生産が盛んな柿が、品種リレーして出荷されて います。今年は猛暑の影響で色づきが遅れているものの、カ メムシなどの被害は少なく、美味しい柿に仕上がっています。 9月から11月上旬にかけて、たねなし柿の「極早生柿」「刀根 早生」「平核無」と品種リレーし、全国の主要市場を中心に約 12,300tの出荷を見込んでいます。

たねなし柿を樹上完熟させることで果肉が黒く仕上がる 「紀の川柿」も人気で、11月以降は、甘みが強くとろけるよう な食感が特長の「富有」の出荷が本格化します。





### JA共済旗学童軟式野球 伊都支部予選大会

第21回JA共済旗学童軟式野球伊都支部予選大会が、橋本 市の南馬場緑地広場で行われました。管内の学童軟式野球9 チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。優勝の「かつら ぎKSMスポーツクラブ」、準優勝の「あやの台バファローズ」は、 第21回JA共済旗和歌山県大会に出場し、第3位の「紀見少年 スポーツクラブ | は第7回MTK 弁慶旗争奪学童軟式野球大会 に出場します。

### 柿の葉寿司作り

柿の葉寿司は、柿産地である和歌山県の郷土料理のひとつ です。女性会の会員らが講師となり、柿の葉寿司の出前料理 教室を管内の小学校で行いました。柿の葉寿司を作るのが初 めての子ばかりで、みんな興味津々。鮭1つと鯖2つ、合計3つ をそれぞれ作り、美味しいと言って食べてくれました。魚が嫌 いなお子さんもいましたが、これを機に興味をもってくれたよ うでした。





### 子どもたちが 地元野菜を使ってピザ作り

かつらぎ町立妙寺小学校の児童が、地元野菜を使ったピ ザ作りを体験しました。青年部の部員がそれぞれ持ち寄った トマトやタマネギ、ピーマンなどの野菜を使ってピザを作り、 用意した窯でピザを焼きました。子どもたちは嬉しそうに焼 きたてのピザを頬張っていました。担当した青年部の部員は、 「地元で採れた野菜を食べて、その美味しさを知ってもらえ たら嬉しい」と話しました。野菜に関する食の勉強も行い、バ ランスよく食事をとることの大切さを伝えました。



### 男の料理教室

第13期男の料理教室の第4回目の講座で、スパニッシュオ ムレツや野菜そぼろ混ぜご飯、切り干し入り五日煮に挑戦し

ました。女性会の栗林照代さんを 講師に迎え、野菜の切り方や調理 工程を教わりました。みなさん和気 あいあいと協力して作り、作った料 理はお持ち帰りいただきました。









3人で仲良く がんでたきくなってねる

\_\_\_\_ 気いっぱいの平井さん家の3姉弟。沙來ちゃんは何事 **丿し**にも集中してがんばる努力家で、なわとびや鉄棒もた くさん練習してできるようになりました。クロミちゃんが大好 きでいろんなグッズを集めています。奏佑くんは面倒見の良 いお兄ちゃんで、遙真くんにやさしく声を掛けて靴を履かせ てあげるそうです。最近はひらがなが書けるようになりました。 遙真くんは、お姉ちゃんお兄ちゃんが大好きで、2人がサッ カーの練習にユニフォーム姿で参加したときは、おそろいの ユニフォームで応援したそうです。ご両親は、「毎日楽しく元 気に過ごしてほしい」と3人の成長をあたたかく見守っていま す。家族みんなでテーマパークに遊びに行きたいねとも話し ていました。これからもたくさん、笑顔溢れる楽しい思い出が 増えていきそうですね。

### 法律相談会

### 12月19日(金)

場所:紀北地域本部3階 時間:午後1時30分~5時まで

JAでは弁護士による無料法律相談を組合員及び ご家族の方を対象に毎月開催しています。相談時 間は30分以内で、秘密は厳守いたしますので、安 心してお申し込みください。なお、定員となり次 第締め切らせていただきます。

- □お問合せ先/紀北地域本部総務生活課 **☎**0736-42-5172
- □組合への加入は最寄りの支店へご相談ください。

### ローン相談会

### 12月7日(日) · 14日(日) 12月21日(日)

- □場所/橋本支店 1階
- □時間/午前9時~午後4時まで

地域の方の住宅ローンなど各種ローンのご相談や お申込み受付を行っています。完全予約制となって いますので、ローンセンターまでお気軽にお問合せ ください。

□お問合せ先/ローンセンター **20736-33-2922** 



### 襄分析実施 のお知らせ

土壌の養分バランスは外見からは判断できず、土壌のバランスを崩 すと元に戻すために時間がかかります。適切な肥料設計のために土壌 分析が必要です。

分析センターへの委託費用として、1検体あたり550円(税込) が必要となりますのでご了承ください。

分析結果につきましては、分析結果表に説明が付いていますので、 それに基づき施肥をお願いいたします。なお、質問等ございましたら 担当営農指導員にご相談ください。

①採土場所は、地表面を除き30cmのところまでの土を 採土してください。

②1園地で3~5カ所採土し、よく混ぜてください。

③採土は日陰で十分乾燥させてから

「ふるい」にかけて小石等を取り除き、

紙袋等に200ccコップ1杯程度の土を入れてください。

④各資材センター備え付けの申込書に必要事項を記入し、

各資材センター、または営農指導員 にご提出ください。

この部分を

・1園地で3~5カ所採土 混ぜて乾燥させる



※紙袋に「氏名・住所」を 記入してください。

